

台風18号を受け 市長に緊急要望!

平成25年9月16日午前、台風18号の接近により大雨特別警報が発令され、各地で甚大な被害が発生しました。被災者の方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

公明党京都市会議員団は、現場に駆けつけ

様々なご意見やご要望をお聞きました。

9月19日、門川市長に対して「大雨洪水被害対策に関する緊急要望」を提出し、生活再建への最大限の援助と復旧支援の体制強化などを申し入れました。右に紹介します。

京都市大雨洪水被害対策に関する緊急要望

- 被災した市民の要望を真摯に受け止め、生活再建へ最大限の援助を行うこと。
- 京都の重要な文化であり産業である観光地の復旧に全力で取り組むこと。
- 相談窓口の一本化及び行政手続きの簡素化など、市民の立場に立った対応を徹底するとともに、指示系統の明確化など迅速な対応を可能にする体制を早急に整えること。
- 国・府と連携し、①桂川・宇治川をはじめとする市内河川の一層の防災対策 ②用水路や道路側溝の溢水対策を速やかに講じること。
- 今回の災害を踏まえ、災害情報の伝達や、避難所運営マニュアルの見直し、市民の防災意識の向上など、ソフト面の防災対策を一層充実させること。



議員提案 条例

交通安全基本条例を制定!

5月28日の本会議で、公明党市会議員団が中心となって提案した「京都市交通安全基本条例」が全会一致で可決成立しました。

これは、祇園地域や亀岡市で発生した痛ましい事故を受け、交通事故のない安全で快適な市民生活に寄与することを目指して、公明党議員団が自民党や民主都みらい等とともに共同提案。1年がかりで作上げた“議員立法”です。

議会の政策立案機能が求められている中、これからも公明党が市会活性化をリードしてまいります。



京都市 交通安全 基本条例の 主な内容

- 交通安全を市民ぐるみで推進するための基本理念を定める。
- 行政と市民、事業者、観光旅行者の責務を明らかにし、交通安全のルールを明確にする。
- 市は、交通安全計画を策定し、通学路や生活道路等の環境を整備する。
- 市・市民・教育機関・事業者は、それぞれ交通安全教育を推進する。
- 交通安全要配慮者（児童、高齢者、障がい者など）の交通安全を確保する。
- 観光旅行者が安心して道路を通行できるよう配慮する。
- 飲酒運転、無免許運転その他重大な交通事故の原因となる無謀な運転を根絶する。



9月定例議会が開会中
 (9月24日～10月28日)

本会議代表質問は、10月1・2日に行われ、公明党からは、谷口弘昌議員(伏見区)、井上教子議員(下京区)、青野仁志議員(中京区)の3名が10月2日(水)午後1時過ぎから登壇します。(KBS京都テレビで生中継の予定です)



そが 曾我 修議員「伏見区」

交通事業サービス向上について

曾我修議員は、市バス・地下鉄事業のサービス向上のため、スマートフォン等に対応した出発地から目的地までの乗換システムを創設し、出発・到着時刻の案内や、主要な観光



地情報、駅のバリアフリー情報等を発信するよう提案。門川市長は、バス・鉄道乗換案内アプリ「歩くまち京都」の開発を約束。8月30日から運用が開始されました。

省エネルギー対策としてのLED推進について

さらに、持続可能な低炭素社会の実現に向け、道路照明のLED化を大幅に促進する

べきと論じ、市長は家庭用ごみ袋の収入等を活用して、今後7年以内に市内全ての市街灯をLED化するを確約しました。

がん検診について

また、がん検診の普及促進に向けて市民の理解が進む工夫や、効果的な

仕組みづくりを主張。ピロリ菌による胃がん検診の導入を訴えました。星川副市長は、「がんセツト検診」実施の拡大を約束しました。



ひらやま 平山 よしかず 議員「西京区」

国際交流の推進について

平山よしかず議員は、日中関係をはじめ国家間の関係に緊張状態が続いている今こそ、京都市と姉妹都市・パートナーシティとの都市間交流・民間交流を促進するよう訴えました。

下水道事業における再生可能エネルギーについて

循環型社会への転換、低炭素社会の構築が求められている中、下水処理場で発生する下水汚泥・下水熱を新たなエネルギー源



として再利用する重要性を訴えました。水田管理者から、下水汚泥をセメント原料として再利用すること、下水処理工程で発生する消化ガスを回収して再利用するとの答弁がありました。

曾我 修議員のおもな質問項目

- 交通事業サービス向上について
- 防災強化に向けた学校施設整備について
- 省エネルギー対策としてのLED推進について
- 子ども子育て支援法への対応について
- がん検診について
- 市営住宅ストック活用計画推進について

平山よしかず議員のおもな質問項目

- 国際交流の推進について
- 水道管の老朽化・耐震化対策について
- 下水道事業における再生可能エネルギーについて
- エコ学区の今後の展開について
- 岡崎地域におけるスマートシティの取組について
- 敬老乗車証の今後のあり方について(要望)

敬老乗車証の今後のあり方について

また、敬老乗車証制度の見直しにあたっては、乗車証制度と併せて、利用しやすい市バスダイヤへの改善を含めて検討し、高齢の利用者に優しい制度となるよう強く求めました。



くぼ 久保 勝信 議員「山科区」

福祉就労への支援体制の強化について

久保勝信議員は、障がいのある方々のうち心身の状況によって一般企業などでの就労が難しい方が福祉施設で働く重要性を指摘し、ほっとはあと商品を作っている障害福祉施設への支援体制を充実するべきと主張。門川市長は、アンテナショップ「はあと・フレンズ・ストア」への支援など、就労支援体制強化を約束しました。



いじめ、体罰、暴力への対策を

また、「子どもの幸福」を最優先した教育のため

いじめや体罰、暴力行為を絶対に許さない仕組みづくり、人づくりを訴えました。

小中一貫教育の推進について

さらに、小中一貫教育は6年生が中学校の校舎で学ぶ「施設併用型」の利点を生かした小中一貫教育の必要性を強調。教育長は「京都ならではの」市民ぐるみ・地域ぐるみの教育を推進すると述べました。

久保勝信議員のおもな質問項目

- 電力入札および売電収入について
- いじめ、体罰、暴力への対策を
- 小中一貫教育の推進について
- 福祉就労への支援体制の強化について
- 老人福祉員の活動について
- ソーシャルビジネスについて



ひおき文章議員「北区」

産学共同の研究開発促進事業について

ひおき文章議員は、産学公が連携して、京都経済再生事業の強化を図るべきであると主張。

門川市長は、京都大学と地元企業との連携によって共同研究開発やベンチャー育成を進め、積極的に新産業の創出・振興を図っていくと答弁しました。

市バス新運転計画と営業所の再編について

また、「便利でわかりやすい市バス路線ダイヤ編成と発信」の実現に向けて、新しい運行計画を軌道にのせるよう提言するとともに、長年の懸案である「営業所の再編成」について質問。市長は営業所再編による効率的な運営と路線の見直しによって、年間1億7千万円のコストを削減すると表明しました。



公共投資事業の取組みについて

さらに、防災対策の視点から「京都市公共事業投資執行・管理・評価システム」を確立し、公共投資事業に対する市民の理解

中小企業の人材確保について



湯浅光彦議員「右京区」

湯浅光彦議員は、京都経済を支える中小企業に優秀な人材が就職するための支援は、学生の目線に立った事業推進が重要であると強調。門川市長は、京都市の中小企業の魅力発信を強化して、中小企業と大学生とのミスマッチングの解消を図ると答弁しました。

ユニバーサルツーリズムについて

次に、障がいのある方や



高齢者が観光を楽しめる「おもてなし」の施策を充実するため、ユニバーサルツーリズムの施策を具体的に実行すべきと提案。市長は、コンシェルジュ制度の拡充や広報の充実を

障がい者支援について

さらに、「障害者総合支援法」でサービス利用者

確認し、9月6日に女性を含む4名を任命しました。

ひおき文章議員のおもな質問項目

- 市税収入の見通しと財政状況について
- 経済産業政策の推進体制について
- 産学共同の研究開発促進事業について
- 市バス新運転計画と営業所の再編について
- 「京都・高度人材交流拠点構想(仮称)の策定・推進」について
- 公共投資事業の取組みについて

を得ることの重要性について提案。平口副市長から、京都経済活性化に対する効果を市民の皆様にご理解いただくとの答弁がありました。

湯浅光彦議員のおもな質問項目

- 中小企業の人材確保について
- スマートフォンを活用した市民参加について
- ユニバーサルツーリズムについて
- 障がい者支援について
- 右京区役所の駐輪場の拡充について(要望)

すべてのケアプランの作成が義務付けられたのを受け、地域の身近な相談体制を強化するよう訴え、藤田副市長は障害者地域生活支援センター等の職員を増員すると答弁しました。

平成25年市会定例会 意見書・決議

【2月議会】	件名	提出会派	会派名				
			公明党	自民党	共産党	民主党	京都み・無
意見書	我が国の優れた国民皆保険制度の恒久的堅持を求める意見書	全会派	○	○	○	○	○
	ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書	自民、共産、民主、公明、み・無	○	○	○	○	○
	患者数が特に少ない希少疾病用医薬品(ウルトラ・オーファンドラッグ)の開発促進・支援のための法整備等を求める意見書	自民、共産、民主、公明、み・無	○	○	○	○	○
	生活保護基準の見直しに関する意見書	自民、民主、公明、み・無	○	○	×	○	○
	生活保護基準を引き下げるとの政府方針の撤回を求める意見書	共産	×	×	○	×	×
	東日本大震災の被災者への住宅支援等に関する意見書	自民、民主、公明、み・無	○	○	○	○	○
	東日本大震災の被災者に対する公営住宅等の支援に関する意見書	共産	×	×	○	×	×
	中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書	自民、民主、公明、み・無	○	○	○	○	○
	中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書	共産	×	×	○	×	×
	次代を担う若者世代支援策を求める意見書	自民、民主、公明、み・無	○	○	×	○	○
	TPP協定交渉を慎重に進めることを求める意見書	自民、公明、京都、み・無	○	○	×	○	○
	TPP(環太平洋連携協定)交渉への参加をしないよう求める意見書	共産	×	×	○	×	×
決議	雇用の安定と就労条件の改善に関する決議	共産	×	×	○	×	×
	京都市厚生会事業に関する決議	京都	×	×	×	×	○

【5月議会】	件名	提出会派	会派名					
			公明党	自民党	共産党	民主党	京都み・無	無所属2
条例	京都市交通安全基本条例の制定	自民、民主、公明、無1・2	○	○	○	○	○	○
	一般用医薬品販売制度に関する意見書	自民、共産、民主、公明、無1	○	○	○	○	○	×
意見書	地方公務員給与に関する意見書	自民、民主、公明、無1	○	○	×	○	○	×
	地方公務員給与に関する意見書	共産	×	×	○	×	×	×
	介護保険制度における介護給付範囲の見直しに関する意見書	自民、公明、無1・2	○	○	○	○	○	○
	介護保険の給付対象から要支援者を外さないよう求める意見書	共産	×	×	○	×	×	×
決議	橋下徹大阪市長の「慰安婦に関する発言」等に対する決議	自民、共産、民主、公明、無1	○	○	○	○	○	×
	技能労務職員の採用に関する決議	自民、公明、無1・2	○	○	×	○	○	○
	技能労務職の採用に関する決議	京都	×	×	×	×	○	○

(注) 公明=公明党京都市会議員団 自民=自由民主党京都市会議員団 共産=日本共産党京都市会議員団 民主=民主・都みらい京都市会議員団 京都=地域政党京都党京都市会議員団 み・無=みんなの党・無所属の会 無所属1=清水ゆづ子議員 無所属2=森川央議員



京都動物愛護センター(仮称)

開設に向けて!!

平成26年に開設される京都動物愛護センター(仮称)に各方面から期待の声が集まっています。7月28日～8月5日まで、超党派の海外行政調査団がドイツ・フランス・イギリスの動物保護施設などを視察し、政府関係者や動物保護団体の方々との意見交換しました。

9月18日には、「京都動物愛護センター(仮称)整備に係る緊急提言書」を門川市長に提出。「人と動物が共生できる都市・京都」の推進への大きな一歩となりました。



京都市会初!

議会基本条例説明会を開催!!

議会の透明化と市民参加を促進するため、京都市会改革推進委員会で「議会基本条例」制定に向けて検討を進めています。

5月30日(呉竹文化ホール)と6月1日(ルビノ堀川)・2日(キャンパスプラザ京都)に公開説明会を開催し、市民の皆様と有意義な意見交換が実現。

公明党議員団からは、湯浅光彦議員(右京区)、青野仁志議員(中京区)、吉田孝雄議員(上京区)、平山よしかず議員(西京区)が参加しました。



ルビノ堀川にて説明会(6/1)

市民に開かれた議会を目指して



公明党京都市会議員団の顔ぶれ

①期数 ②委員会 ③会派役職

中京区

青野 仁志
あおの ひとし

①1期 ②まちづくり委員会 ③幹事

左京区

国本 友利
くにもと ともとし

①1期 ②教育福祉委員会 ③政調事務局長

上京区

吉田 孝雄
よしだ たかお

①2期 ②くらし環境委員会 ③政調副会長

北区

ひおき文章
ひおき ぶんまき

①6期 ②経済総務委員会

右京区

湯浅 光彦
ゆあさ みつひこ

①3期 ②交通水道消防委員会 ③代表幹事

南区

大道 義知
だいどう よしとも

①6期 ②くらし環境委員会

下京区

井上 教子
いのうえ のりこ

①4期 ②教育福祉委員会

山科区

久保 勝信
くぼ かつのぶ

①3期 ②くらし環境委員会

伏見区

津田 早苗
つだ さなえ

①3期 ②交通水道消防委員会 ③政調副会長

伏見区

曾我 修
そが おさむ

①3期 ②まちづくり委員会 ③副団長

伏見区

谷口 弘昌
たぐち ひろまさ

①6期 ②まちづくり委員会 ③団長

西京区

平山よしかず
ひらやま よしかず

①2期 ②経済総務委員会 ③政調会長

京都いつでもコール
市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。
午前8時～午後9時(年中無休)

●TEL:075(661)3755 ●FAX:075(661)5855

●電子メール(以下のホームページから)

パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

左記の二次元コードから携帯電話でアクセスできます(一部機種除く)

みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを
公明党京都市会議員団にお寄せください

●TEL:075(222)3732
●FAX:075(212)3608
●電子メール: komei@lime.ocn.ne.jp
●ホームページ: [公明党京都市会](#)